

番号	件名	主管部課
1	東部総合公園整備運営事業 公募設置等予定者の決定について	[都市整備部] NCC推進課
2	令和5年度総合計画主要事業の進捗状況について	[総合政策部] 政策審議室
3	「スマート窓口」(第1弾)のサービス開始について	[総合政策部] デジタル政策課
4	DX実現タスクの進捗状況について	[総合政策部] デジタル政策課
5	ゆいの杜小学校における脱炭素化の取組について	[環境部] 環境創造課 カーボンニュートラル推進室
6	「ライトライン」の利用状況と更なる利便性向上等について	[建設部] LRT管理課 LRT整備課 協働広報室

※ 上記件名を左クリックしていただくと、該当ページに遷移できます。
(後日、公表資料を市HPにおいて掲載)

番号	件名	主管部課
7	「LRT都市サミット2024宇都宮」の開催について	[建設部] LRT管理課
8	市政研究センター設立20年記念事業について	[総合政策部] 政策審議室 市政研究センター
9	JR宇都宮駅東口地区における賑わい空間創出事業「HIGHLIGHT UTSUNOMIYA」の実施について	[経済部] 都市魅力創造課

東部総合公園 整備運営事業 公募設置等予定者の決定について

都市整備部 NCC推進課

新設の公園として
県内で初めて、
公募設置管理制度
(Park-PFI)
を活用！

東部総合公園整備運営事業に係る公募設置等予定者を「東部総合公園ネクストパートナーズ」に決定しました！

スケートボードやBMXなどの本格的なアーバンスポーツ施設を核とした、ライトライン沿線の新たな賑わいの拠点となる東部総合公園について、この度、当該公園の整備・運営を担う公募設置等予定者を「東部総合公園ネクストパートナーズ」に決定しました。※詳細については「公募設置等計画の概要」を参照



- 東部総合公園ネクストパートナーズ
- 代表法人
大和リース(株)
 - 構成法人
A I S総合設計(株)
高野ランドスケーププランニング(株)
渡辺建設(株)
長谷川体育施設(株)
(株)ムラサキスポーツ
環境整備(株)

1 これまでの経過

- 令和5年3月13日 第1回事業者選定委員会（公募設置等指針の審議）
※ 外部有識者5名で構成
- 29日 公募設置等指針の公表（公募開始）
- 8月31日 公募設置等計画（提案書）の提出締切（2グループ）
- 10月10日 第2回事業者選定委員会（資格審査結果等の報告，審査の進め方等の審議）
- 31日 第3回事業者選定委員会（プレゼンテーション審査，最優秀提案者の選定）
- 11月15日 事業者選定委員会から「審査講評」等の受理

2 事業者選定委員会における評価結果

評価項目（配点）	応募者A	応募者B （東部総合公園ネクストパートナーズ）
提案内容に対する評価（160点）	119.000（74.4%）	127.000（79.4%）
提案価格に対する評価（20点）	16.540（82.7%）	19.171（95.9%）
対話型市場調査参加に対するインセンティブ（5点）	0	5
総合評価（185点満点）	135.540（73.3%）	151.171（81.7%）

3 事業者選定委員会における最優秀提案者の選定理由

(1) 最優秀提案者

東部総合公園ネクストパートナーズ（【別紙1】公募設置等計画の概要）

(2) 選定理由

- ・ 高い専門性と十分な実績を有する代表法人や構成法人等による実施体制が構築されており、長期間にわたり、安定的かつ持続的な事業遂行が期待される。
- ・ 公募対象公園施設については、出店内容が具体的であるとともに、特定公園施設との連携や、地域資源の積極的な活用等に配慮した提案となっている。
- ・ 特定公園施設のうちスケートパークについては、初心者から上級者まで幅広い競技ニーズに対応した施設であるとともに、国内大会はもとより、国際大会にも対応可能な高い水準の整備計画が示されており、全国に誇れる施設が提案されている。
- ・ アーバンスポーツ関連の豊富な経験や幅広いネットワークを生かし、大規模な大会やイベントなどの誘致・開催に関する具体的な提案がなされている。
- ・ 地元企業の参画など、施設整備から運営に至るまで、地元雇用を積極的に活用するほか、平石地区をはじめとした地元農産物の販売や6次産業化、農業体験ツーリズムの展開など、地域振興や市内経済の活性化につながる具体的な取組が提案されている。

4 市による公募設置等予定者の決定

東部総合公園ネクストパートナーズの提案内容については、事業者選定委員会の審査において、最も高い評価を獲得するとともに、提案価格についても、最も高い評価となったことから、**本事業の目的等を達成するにふさわしい最も優れた提案**である。

こうしたことから、最優秀提案者である**「東部総合公園ネクストパートナーズ」**を公募設置等**予定者**とする。なお、2位となった応募者Aについては、次点交渉権者とする。

5 今後のスケジュール

令和5年1月24日	公募設置等予定者の決定・公表 審査講評の公表【別紙2】
～6年 2月	公募設置等計画の認定
～	基本協定の締結
	施設設計の着手
12月～	特定公園施設建設・譲渡契約の締結
	着工
8年 3月	供用開始（開園）予定

令和5年度 総合計画主要事業の進捗状況について

総合政策部 政策審議室

令和5年度総合計画主要事業の進捗状況について

スーパースマートシティの実現に向けて取り組む主要事業は順調に進捗しています

令和5年度総合計画主要事業として位置付けた20項目について、その執行状況や推進上の課題等を的確に把握し、総合的・効率的な執行を確保するため、10月末時点の進捗状況の確認を行ったところであり、本年度の主要事業については、概ね順調に進捗しています。



令和5年度総合計画主要事業の進捗状況について

**オープナーの経済効果等
5億8,640万円は
過去最高!**



▲大谷コネクトのシンボル「旧大谷公会堂」

1 主な取組

① 本市の魅力・観光資源の充実

- 本市が誇る国際的スポーツイベント「FIBA 3x3 ワールドツアーうつのみやオープナー」, 「第30回記念 ジャパンカップサイクルロードレース」を開催し, 街なか
に大きな賑わいを創出 (別紙 6 ページ No.15)
- 観光地大谷の更なる活性化に向けた新たな観光・周遊拠
点の整備を着実に進め, 11月20日に「大谷コネクト
(大谷観光周遊拠点施設)」をオープン
(別紙 6 ページ No.16)

② 市民の活躍につなげる人づくりの推進

- 「イノベーションmiyaユース会議事業」において,
「(仮称)子どもを守る都市宣言」の制定に向け, 子ども
たちの意見を宣言に反映するための意見交換を実施
(別紙 1 ページ No.2)
- 不登校児童生徒の社会的自立を目指し, メタバースを
活用したデジタル適応支援教室「U@りんくす」を開設
(別紙 6 ページ No.13)
- デジタルに不慣れな方を支援する地域のボランティア
「宮デジサポーター」を21名認定するなど, デジタルを
活用した人づくり事業を展開 (別紙 2 ページ No.5)

▶「イノベーションmiya
ユース会議」に参加した
子どもたち



▲「U@りんくす」活動の様子

令和5年度総合計画主要事業の進捗状況について

**11月で利用者数100万人を突破！
開業当日は発車式や開業パレード等に
2万人以上が来場！**

③ 公共交通ネットワークの充実

- ・ JR宇都宮駅東側に、日本初の全線新設である、次世代型路面電車「ライトライン」が開通し、通勤・通学やお出かけのための交通手段として浸透（別紙 3 ページ No.8）
- ・ 公共交通を積極的に利用いただけるよう、「ライトライン開業と併せた駅東側のバス路線の再編」や「LRT・バス・地域内交通間の乗継割引制度」等の利便性向上・利用促進策を展開（別紙 4 ページ No.9）
- ・ 「ゼロカーボントransポート」のLRTとともに公共交通ネットワークを構成している路線バス，地域内交通などのEV化を加速させるため，交通事業者を対象とした補助制度を新設（別紙 8 ページ No.19）



**totraを使えば公共交通による
市内のお出かけがより便利に！**

**CO2排出削減等に積極的に
取り組む交通事業者を，全国
トップクラスの高い補助率で
支援する先進的な取組！**

④ 物価高騰対策

- ・ 市民・事業者を広く下支えするための水道料金基本料金の免除や，学校・保育施設等の給食食材費，医療・福祉施設等の電気料金などに対する支援に加え，新たに，「交通・物流」分野への対策として，燃料価格の高騰による影響が大きい貨物運送事業者等への支援を実施（別紙 1 ページ No.1）



令和5年度総合計画主要事業の進捗状況について

2 令和5年度総合計画主要事業一覧（20事業）※各事業の主な取組については別紙参照

No	●事業名 <所管課>
緊急的に対応が必要な事業	
1	●物価高騰対策 <政策審議室>
人づくり	
2	●少子化対策をはじめとした人口減少対策 <子ども政策課, 人口対策・移住定住推進室>
3	●女性活躍の推進 <男女共同参画課>
4	●生涯にわたるスポーツ活動の推進 <スポーツ振興課, 用地課>
デジタル	
5	●地域社会全体のデジタル化の推進 <デジタル政策課>
NCC	
6	●LRT沿線のまちづくり <NCC推進課, 河川課, 文化課, 建設用地室>
7	●都心部まちづくりの推進 <NCC推進課都心部まちづくり推進室, 市街地整備課, 市街地整備課再開発室, 交通政策課, LRT整備課>
8	●公共交通ネットワークの充実 <交通政策課, LRT整備課, LRT整備課協働広報室, LRT管理課>
9	●MOVE NEXT UTSUNOMIYA <交通政策課>
10	●道路ネットワークの整備 <道路建設課, 建設用地室>
11	●災害に強いまちづくり <河川課, 農業企画課, 下水道管理課, 工事受付センター, 危機管理課, 都市計画課>

令和5年度総合計画主要事業の進捗状況について

No	●事業名	<所管課>
地域共生社会		
12	●重層的支援体制整備事業の推進	<保健福祉総務課>
13	●子どもを守り育てる支援の強化	<子ども政策課, 子ども支援課, 教育センター>
地域経済循環社会		
14	●新たな産業団地の整備推進	<産業政策課>
15	●国際的スポーツイベントの開催による地域経済の活性化	<都市魅力創造課>
16	●大谷周辺地域の振興	<観光交流課大谷振興室>
17	●MICEの推進による地域経済の活性化	<都市魅力創造課>
18	●中央卸売市場の賑わいエリアの整備推進	<中央卸売市場>
脱炭素社会		
19	●カーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進	<環境創造課, 交通政策課>
20	●効率的・効果的なごみ処理体制の構築	<廃棄物施設課, 廃棄物政策課>

「スマート窓口」（第1弾）の サービス開始について

総合政策部 デジタル政策課

「スマート窓口」(第1弾)のサービス開始について

いつでも・どこでも手続きが簡潔に！「書かない窓口システム」の運用を開始！

12月15日から、市役所本庁舎1・2階の窓口において、マイナンバーカード等に登録されている情報を利用して、申請書に名前や住所などの基本情報を極力、書かずに手続きができるようにする「書かない窓口システム」の運用を開始いたします。

今後につきましては、システムの対象となる手続きの拡充や、地域行政機関へのシステムの導入などにより、市民サービスの向上や、行政サービスの効率化に努めてまいります。

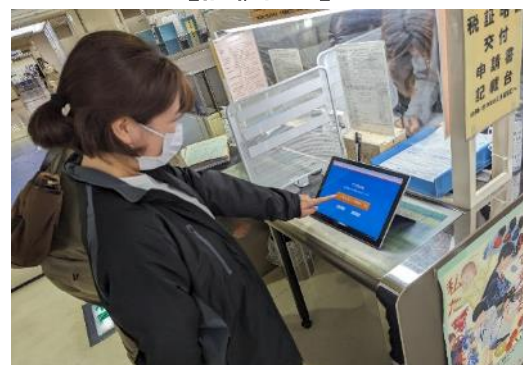
【システム概要】

マイナンバーカード等※を「専用カードスキャナ」や「ICカードリーダー」で読み込むと、市民は、基本情報を申請書に記入しなくて済み、複数枚の申請書を一度に作成することもできる。



運用開始日	実施窓口
令和5年12月15日(金)～	<ul style="list-style-type: none">● 本庁舎1階 市民課, 保険年金課● 本庁舎2階 税制課, 子ども政策課, 子ども支援課
令和6年1月以降	<ul style="list-style-type: none">● 本庁舎2階 保育課, 高齢福祉課

【記載台型】



➤ 市民自身で操作・出力

【対面型】



➤ 職員が操作・入力を案内

※運転免許証, 運転経歴証明証, 在留カード, 特別永住者証明書

「スマート窓口」(第1弾)のサービス開始について

○「スマート窓口」とは

- すべての市民が意識することなく最適なデジタル技術を活用して、いつでも・どこでも・簡単に手続が完結する窓口の実現を目指し、行政手続のオンライン化の加速、窓口サービスのDXを推進するもの。

スマート窓口(第1弾)

「行かない」「書かない」「待たない」「ユニバーサル」のサービスを提供するデジタルツールが出揃いました。今後これらのサービスを拡充していきます。

行かない

電子申請共通システム



オンラインで行政手続・公金の支払い など

R4.4月～



対面での手続や相談を望む
障がい者も、外国人も、
デジタルを使いこなせない人も



本庁舎・出先機関をとわず
市内全域の
身近な行政機関で

書かない

書かない窓口システム



マイナカードリーダーと
タッチパネル端末で
申請書を書かせない

R5.12月～

待たない

受付管理・情報提供システム



ディスプレイとスマホ配信で、いつでもどこでも待ち
状況を提供

R5.4月～

ユニバーサル

多言語翻訳等アプリ
搭載タブレット



タブレット+アプリで
多言語翻訳、音声反訳、
遠隔手話通訳を実施

R5.5月～

【参考】取扱手続一覧

- 「書かない窓口システム」を活用することによって市民サービスの向上や効率化が期待できる手続を本庁各課において選定し、今年度の運用では、7課44手続を予定。

令和5年12月15日から運用開始となる窓口・手続

所属	申請書名	記載台型
税制課	税証明書交付申請書	○
市民課	証明書（住居表示等）交付申請書	○
	新築による届出書	○
	住居番号（設定・変更・廃止）申出書	○
	住民異動届	○*
	印鑑登録に関する届出書、申請書（本人用）	○
	印鑑登録証明書交付申請書	○*
	戸籍謄抄本等交付申請書	○*
	住民票の写し等交付申請書	○*
	諸証明交付申請書	○*
	年齢証明・年金現況届・出産育児一時金証明申請書	
	広域交付住民票申請書（全国用）	
	「住民票コード確認書」交付申請書	
	り災証明書交付申請書	
	被災証明書交付申請書	
保険年金課	国民健康保険限度額適用等認定申請書	
	国民健康保険出産育児一時金請求書	
	国民健康保険食事療養費標準負担額差額支給申請書	
	国民健康保険葬祭費請求書	
	国民健康保険療養費支給申請書	
	国民健康保険特定疾病療養受療証交付申請書	
	国民健康保険異動届	
	国民年金異動届	

※代理人申請の場合は、窓口の対面型の利用になります。

所属	申請書名	記載台型
保険年金課	納付済確認書等交付申請書	
	後期高齢者医療療養費支給申請書	
	後期高齢者医療高額療養費支給申請書	
	後期高齢者医療葬祭費支給申請書	
	後期高齢者医療保険申立・誓約書	
	後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証交付申請書	
	兼入院日数届書	
	後期高齢者医療再交付申請書	
	後期高齢者医療限度額適用認定証交付申請書	
	子ども政策課	児童手当・特例給付認定請求書
内容変更届（子ども政策課手当用）		
児童手当・特例給付額改定認定請求書（額改定届）		
児童手当・特例給付受給事由消滅届		
こども医療費受給資格者証交付申請書		
こども医療費助成申請書		
内容変更届兼再交付申請書（子ども政策課医療費用）		
子ども支援課	妊産婦医療費受給資格者証交付申請書	
	うつのみや出産応援金申請書	
	妊産婦健康診査費・新生児聴覚検査費助成申請書	

令和6年1月以降に運用開始を予定している窓口・手続

所属	申請書名	記載台型
高齢福祉課	施術料助成券交付申請書	
	高齢者外出支援事業利用申請書	
保育課	支給認定申請書・入所（園）申込書（保育児童台帳）	

「DX実現タスク」の進捗状況について

総合政策部 デジタル政策課

DX実現タスクの進捗状況について

本市におけるDXの実現に向け、重点事項をまとめた「DX実現タスク」について、10月末時点の取組の進捗状況の確認を行ったところであり、本年度については、概ね順調に進捗しています。今後も市民生活の質の向上や多様化・複雑化する地域課題等の解決に向け、全市を挙げてDXに取り組んでまいります。

宇都宮市DX実現タスクの進捗状況

重点取組事項（8項目）	取組数			KPI （重要達成度指標）
	当初想定より進み	計画通り	やや遅れ	
①SSC実現に向けたデジタルサービスの提供等	0/37	36/37	1/37	デジタルサービスの恩恵を受けている市民の割合 R4:46.8% ☞ R5.10末:集計中 ☞R9目標:66.0%
②スマート窓口の実現	1/8	7/8	0/8	行政手続きオンライン化数 R4:100手続 ☞ R5.10末:192手続 ☞R9目標:500手続
③デジタルデバイト対策・デジタル人材育成	0/6	6/6	0/6	宮デジサポーター養成人数 R4:0人 ☞ R5.10末:21人 ☞R9目標:120人
④デジタル社会基盤の強化	0/2	2/2	0/2	マイナンバーカード普及率 R4:49% ☞ R5.9末:72% ☞計画期間中目標:100%
⑤業務のデジタル変革	0/6	6/6	0/6	AI/RPA活用業務数 R4:14業務 ☞ R5.10末:17業務 ☞R9目標:120業務
⑥庁内DX人材の育成・確保	0/6	6/6	0/6	ローコード・ノーコード開発ができる職員数 R4:30人 ☞ R5.10末:141人 ☞R9目標:300人
⑦スマートワークの実現	0/3	3/3	0/3	執務室改善着手フロア数 R4:1フロア ☞ R5.10末:4フロア ☞R9目標:本庁舎全フロア
⑧データの利活用	0/5	5/5	0/5	国の推奨データセット公開割合 R4:78% ☞ R5.10末:78% ☞R9目標:100%

D X 実現タスクの進捗状況について

重点取組事項別の主な取組事例

重点取組事項	主な取組事例 上段：施策・事業名 ☞下段：具体的な取組内容
①SSC実現に向けたデジタルサービスの提供等	<p><u>デジタルを活用した検索システムによる認知症になっても安心して暮らせる環境整備</u></p> <p>☞地域住民が協力して行方不明となった認知症高齢者の早期発見につなげるための新たな「見守りグッズ」や「検索支援アプリ」を導入（8月）し、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる地域づくりを支援（7月公表済）</p> <p><u>AIを活用した水道管路の劣化予測診断</u></p> <p>☞水道管路の漏水調査に、新たにAIを活用し、環境ビッグデータや水道管路データを用いた機械学習を行い、水道管路の劣化レベルを予測診断し、漏水の抑制、漏水に起因する事故の防止や管路更新を効率化（9月公表済）</p>
②スマート窓口の実現	<p><u>市税等の各種公金のオンライン納付</u></p> <p>☞インターネット銀行からの口座振替が可能になることにより、市民の利便性が向上（令和6年1月31日から口座振替開始予定）</p> <p><u>マイナポータル・電子申請共通システムによる行政手続のオンライン化</u></p> <p>☞行政手続オンライン化に関する部局別研修会や事業者・デジタル政策課による伴走支援を実施（7月～）することで、オンライン化を加速し、市民の利便性が向上</p> <p>【行政手続オンライン化数 R4:100手続⇒R5.10末192手続（再掲）】</p>

DX実現タスクの進捗状況について

重点取組事項別の主な取組事例

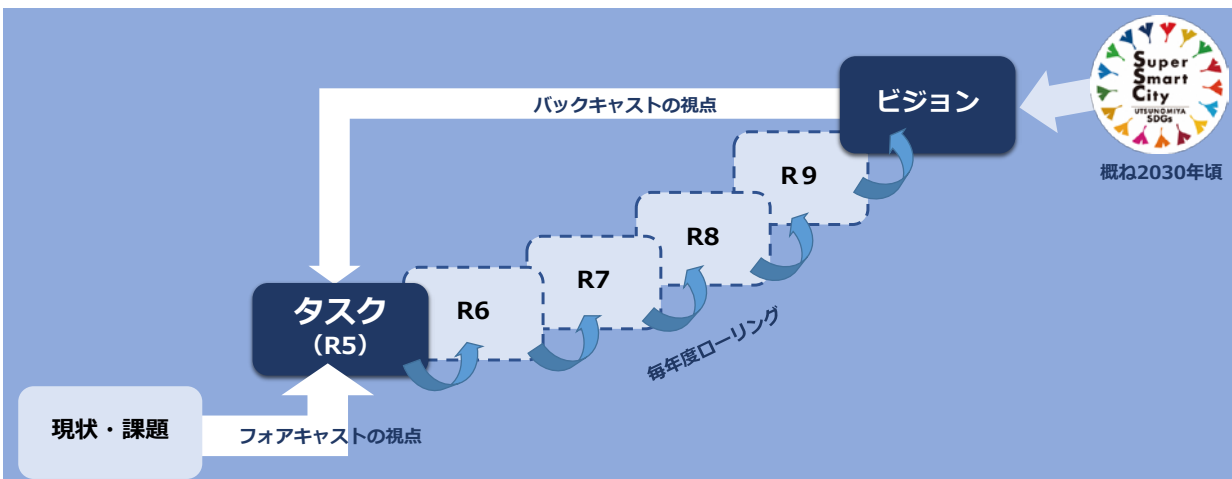
重点取組事項	主な取組事例 上段：施策・事業名 ☞下段：具体的な取組内容
③デジタルデバイド対策 デジタル人材育成	<p>「宮デジサポーター」によるデジタル知識・技術の伝達・支援</p> <p>☞スマートフォンの操作方法などを教える地域のボランティアを養成する「宮デジサポーター」講座を開催（9月～）し、デジタルデバイド対策を推進（7月公表済）</p> <p>【宮デジサポーター R4:0人⇒R5.10末21人（再掲）（11月に追加講座を実施し、年間40人を養成予定）】</p>
④デジタル社会基盤の強化	<p>交通結節点におけるデジタルサイネージ等を活用した効果的な情報発信</p> <p>☞LRT沿線と観光拠点においてデジタルサイネージの運用を開始（8月）し、「公共交通乗換案内」や「店舗や観光地の情報」等を提供することにより、利用者の利便性向上と来訪者の回遊性促進を実現（平均タッチ回数：1.2万回/月）（7月公表済）</p> <p>【デジタルサイネージ設置数 R5.10末：8基（うち大谷コネクトは施設の開業日（11/20）から運用開始予定）】</p>
⑤業務のデジタル変革	<p>ローコード・ノーコード型システム開発・活用の推進</p> <p>☞ノーコード型システム開発サービス「kintone」の活用促進のため、庁内でのアプリ発表会を実施（7月）し、業務効率化を推進。アプリ発表会後は利用者が大幅増</p> <p>【ローコード・ノーコード開発ができる職員数 R4:30人⇒10末：141人（再掲）】</p>

DX実現タスクの進捗状況について

重点取組事項別の主な取組事例

重点取組事項	主な取組事例 上段：施策・事業名 下段：具体的な取組内容
⑥庁内DX人材の育成・確保	外部デジタル人材の任用 外部の高度デジタル人材を、本市のDXを牽引する「CDXO補佐官」・「DX専門官」として4人任用（5月）し、庁内全体のDXを加速 【主な従事プロジェクト数 R5.10末：8件※】 ※DX人材育成，システム標準化・共通化，データ利活用，ポイント事業の一元化 等 【職員向け研修回数 R5.10末：5回】

※デジタルツール（大型モニターなど）が身近になったことや、研修（DXマインド研修），デジタル政策課の伴走支援が活用されることにより、本市DX推進の基盤となる、職員のデジタルを活用する意識が数段向上。今後、より一層、市民生活の質の向上や多様化・複雑化する地域課題等の解決に向け、全庁を挙げてDXに取り組んでいく



日々進展するデジタル技術や各取組の進捗状況，改定された国の「自治体DX推進計画」等を踏まえ，DX実現タスクの内容を令和6年2月に見直す（ローリング）

ゆいの杜小学校における 脱炭素化の取組について

環境部 環境創造課 カーボンニュートラル推進室

市民の協力により，施設内の全てのエネルギーを脱炭素化する取組は，国内でも先進的な試み！

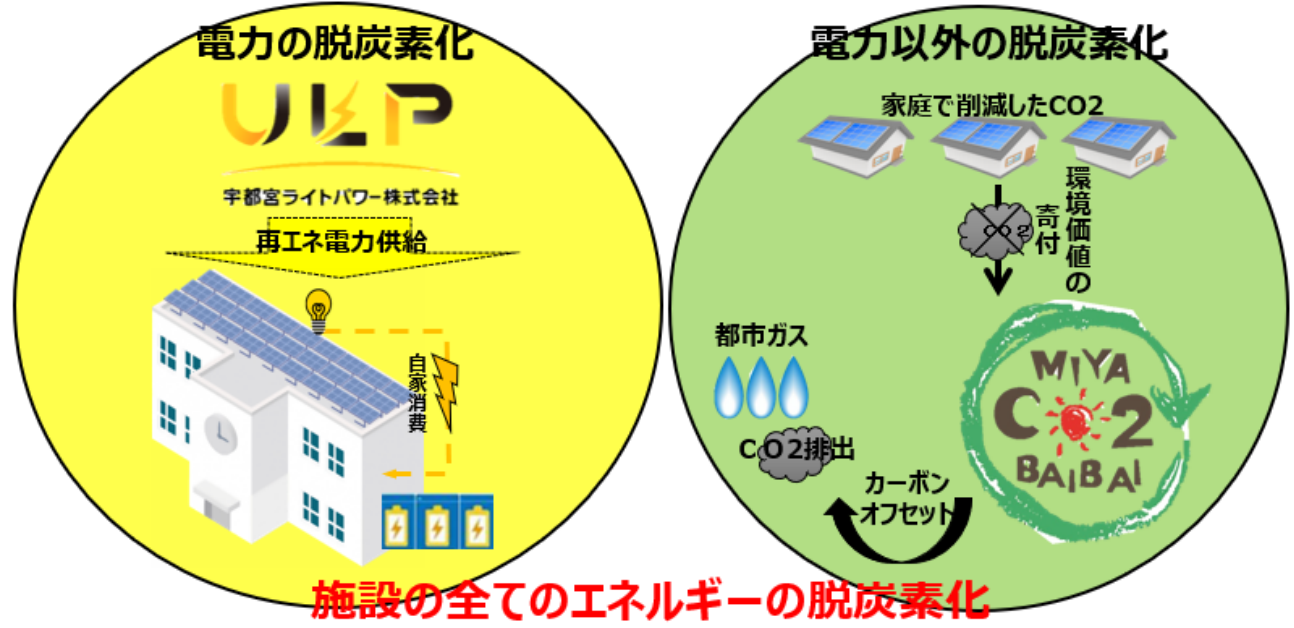
ゆいの杜小学校における脱炭素化の取組について

市内で生み出した再エネ電力とクレジットで ゆいの杜小学校における「ゼロカーボンスクール」を実現！

令和4年度に国に選定された「脱炭素先行地域」の取組として，ライトラインの「ゼロカーボントランスポート」に続き，ゆいの杜小学校で使用する全てのエネルギーの脱炭素化を実現します。

主な取組としては，市有施設で初めて「PPA方式※1」を活用し，太陽光発電・蓄電池を導入するほか，市民の皆様が太陽光発電で生み出したCO2削減量（クレジット）の活用※2により，「CO2排出実質ゼロ」に取り組むものです。

今後こうした取組を，脱炭素先行地域の市有施設において，順次実施していきます。



※1 第三者（PPA事業者）が太陽光発電設備や蓄電池を設置・管理し，市が電力使用量に応じて電気料金を支払うことで，初期費用ゼロで再エネ電力を使用できる仕組み

※2 市民の設置する太陽光発電設備で生み出したCO2削減量（環境価値）を市に寄付いただき，国のJクレジット制度によりクレジットにして売買するなど，有効活用する仕組み（みやCO2バイバイプロジェクト）

ゆいの杜小学校における脱炭素化の取組について

1 CO2排出実質ゼロの手順（イメージ）



Step1
排出量の把握

Step2
省エネ，創エネ等
による削減

Step3
クレジット
によりオフセット

【PPA事業の規模・概要】

- ・ PPA事業者
サービス提供・電力供給：宇都宮ライトパワー株式会社
設備工事・保守管理：NTTアノードエナジー株式会社
- ・ 設備設置箇所：学校校舎の屋根面（約620㎡）
- ・ 設備の種類・容量：太陽光発電：138kW，蓄電池：9.8kWh

※環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を活用

ゆいの杜小学校における脱炭素化の取組について

2 事業効果

1

CO₂排出量の削減



年間約250t-CO₂の削減
 (一般家庭におけるCO₂排出量 約50世帯分相当)

2

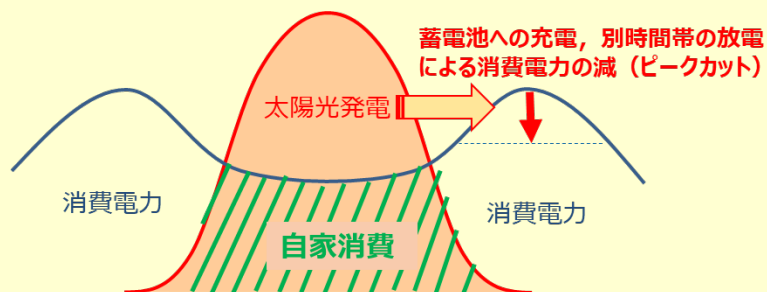
災害時におけるレジリエンス強化



**太陽光発電・蓄電池を活用した
避難所への電力供給**

3

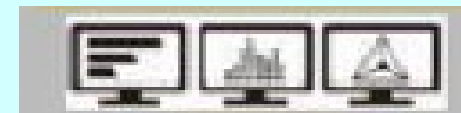
効率的なエネルギー利用の推進



蓄電池を活用した電力のピークカット

4

環境意識の向上・環境教育の推進



施設内への太陽光発電の表示モニターの設置

脱炭素の取組の見える化・PR

3 今後のスケジュール

令和5年11月 事業着手

令和6年 2月 太陽光発電設備・蓄電池の導入完了

5月～ 宇都宮ライトパワーによる再エネ電力供給, カーボン・オフセット

ゆいの杜小学校における脱炭素化の取組について

《参考》 脱炭素先行地域における対象施設



・LRT沿線における公共・民間施設、大学、住宅による施設群を脱炭素先行地域の対象施設として設定

①「立地適正化計画」に基づく都市機能誘導区域内に誘導を図る「身近な都市機能」

： 商業施設、銀行、大学、小・中学校 等

②地域の防災拠点、又は防災に資する施設

： 地区市民センター、体育館、インフラ事業所、大学 等

③地区計画を有する都市機能誘導区域の住宅

： 陽東、ゆいの杜地区の戸建住宅

「ライトライン」の利用状況と 更なる利便性向上等について

建設部 LRT管理課
建設部 LRT整備課
建設部 LRT整備課 協働広報室

ライトラインの日常利用が浸透。更に利便性向上とマイレール意識醸成に取り組みます！

「ライトライン」開業3か月を迎え、通勤・通学やショッピングなどでの日常的な利用が浸透し、利用者数は堅調に推移しております。今後も引き続き、利便性向上に努めるとともに、愛着・マイレール意識の醸成、また、駅西側ライトライン延伸に向けて理解促進・機運醸成できるよう、官民協働により、各種取組を実施していきます。

1. 利用者数の推移

- ・開業3か月目は、**約39万人**が利用
(当初予測の**約1.3倍**)
- ・11月15日(水)には利用者数**100万人**を達成
- ・平日は日常利用が浸透し、前の月から微増傾向
- ・「平石」, 「清原地区市民センター前」, 「芳賀町工業団地管理センター前」に設けられているパーク&ライド駐車場等の駐車スペースを増設



2. 愛着・マイレール意識の醸成

- ・沿線小学校(10校, 児童約200名)が参加「タイムカプセルムービー」を実施



3. 駅西側延伸の理解促進・機運醸成

- ・「ライトライン体験・意見交換会」を開始(築瀬地区)



1 開業後3か月の利用状況など

(1) 利用者数の推移について

◎ 開業3か月目は、**約39万人**が利用（当初予測の**約1.3倍**）

- **平日**は通勤・通学をはじめとした日常利用が浸透し、前の月から微増傾向の、**約13,000人**（当初予測と**同程度の利用**）
- **土日・祝日**はショッピングや一日乗車券による観光利用など、前の月と同様の、**約11,000人～12,000人**（当初予測の**約3倍**）



■ 11月15日（水） 利用者数100万人を達成



■ 11月16日（木） ラッピング車両第1号が走行開始

表 ライトライン利用者数

利用状況	1か月目 (8/26～9/25)	2か月目 (9/26～10/25)	3か月目※ (10/26～11/25)	当初予測 (開業初年度)
利用者数	約420,000人	約380,000人	約390,000人	約312,400人
平日	約12,000～13,000人／日	約12,000～13,000人／日	約13,000人／日	約12,800人
土日祝	約15,000～16,000人／日	約11,000～12,000人／日	約11,000～12,000人／日	約4,400人

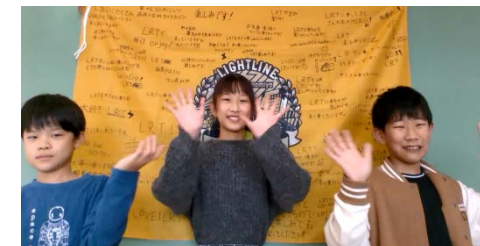
※3か月目の利用者数等は、20日までの実績値に基づき推計し算出

2 愛着・マイレール意識の醸成

沿線小学校が参加「タイムカプセルムービー」を作成

- ・ 次代を担う子どもたち（沿線小学校10校の児童約200名）が参加し、開業の「思い出とこれからの期待」メッセージ動画を撮影・保管するもの
- ・ 12月20日（水）に児童から市長への贈呈式を実施（後日プレスリリース予定）

※ 開業10周年の節目などで開封予定



3 駅西側延伸の理解促進・機運醸成

「ライトライン体験・意見交換会」を開始

- ・ ライトラインに乗車いただき、新しい暮らしに触れ、ライトラインの走るJR宇都宮駅西側のまちについて考えていただくもの
- ⇒ 11月21日（火）に、初となる築瀬地区対象の体験・意見交換会を実施
- ⇒ 今後も、引き続き、市内のまちづくり協議会、連合自治会等と連携して実施



4 その他の取組

(1) オープンスクエアにてオフィシャルグッズ販売を開始

- ・ 販売開始日時 12月1日（金）午前10時～
- ・ 販売場所 交通未来都市うつのみやオープンスクエア
- ・ 販売内容 宇都宮ライトレール公式グッズ、ガチャガチャ



今後オリジナルグッズも販売予定／

(2) 車両基地「検修庫見学会」の募集を開始

- ・ ライトラインや検修庫の見学・説明など
- ・ 定員約30名で開催予定。月1回程度
- ・ 開催日や参加料、募集方法など詳細は12月にホームページで公表



交通未来都市うつのみや オフィシャルグッズ販売開始
オープンスクエア



定番の人気商品から新作まで
豊富な品揃え
今後、オリジナルグッズも
販売予定

場所 トナリエ宇都宮3階
交通未来都市うつのみや
オープンスクエア
販売日時 12月1日（金）10時～
※ガチャガチャも設置（1回300円）



「LRT都市サミット2024宇都宮」 の開催について

建設部 LRT管理課

LRTの走る街の魅力を全国に発信！「LRT都市サミット」を開催します。 ～ゼロからの挑戦 まちの未来を紡ぐLRT～

路面電車のLRT化に取り組み、人と環境にやさしいまちづくりを目指す都市の市長等が参加し、各都市の取組や魅力を全国に発信する「LRT都市サミット」を開催します。

サミットでは、「ゼロからの挑戦 まちの未来を紡ぐLRT」をテーマとして、首長会議を通して、未来に向けた決意についてまとめたサミット宣言を採択するとともに、開催を記念したトークライブ等の各種イベントを実施します。

○サミット開催概要

- 1 開催日 令和6年1月26日(金)・27日(土)
- 2 場所 ライトキューブ宇都宮 1F 大ホール・大会議室
- 3 参加者 約2000名（2日間の延べ人数）
- 4 テーマ ゼロからの挑戦 まちの未来を紡ぐLRT



LRT都市サミット宇都宮2024

- 5 内容 **1日目(1/26) ※事前申し込み制(入場無料)**

首長会議 LRTに関する事例・制度紹介

本市における取組紹介

意見交換・コーディネーター 森本章倫氏

(早稲田大学理工学術院創造理工学部教授・日本都市計画学会会長)

・参加都市 路面電車のLRT化に取り組む都市(21都市程度)

サミット宣言の採択

5 内容

2日目 (1/27)

※事前申し込み制 入場料 大人 1000円 小学生以下 500円
（「サミット開催記念ライトライナー一日乗車券」付）

記念講演 鉄道好き芸能人「中川家・礼二さん」と「鈴川絢子さん」のLRTトークライブ



中川家・礼二さん

実の兄弟コンビ中川家のツッコミ担当。M-1 GP初代チャンピオンの実績を持つ漫才師。鉄道好き芸人としても知られ、鉄道関連のイベント、メディアにも数多く出演する。



鈴川絢子さん

鉄道をメインに扱うYouTubeチャンネルでは登録者数103万人、総視聴回数は17億回を超え、鉄道系インフルエンサーとしてはトップクラスの人気を誇る。

両日 (1/26, 27) 大会議室 ※事前申し込み不要（入場無料）

サミット参加都市パネル展 サミットに参加都市のブースを設置し、魅力をPRするパネル展示を実施
本市のブースでは、「まちづくり」や「観光」などまちの魅力をPRします。

6 参加申込

12月上旬以降、受付開始予定 ※申込方法等の詳細は、決定次第、ホームページ等でお知らせします。

7 その他

LRT都市サミット開催を記念して、沿線の魅力などを発信するイベントを実施予定

※イベントの詳細は、決定次第、ホームページ等でお知らせします。

市政研究センター 設立20年記念事業について

総合政策部 政策審議室 市政研究センター

どなたでも気軽に
ご参加いただけます！

市政研究センター設立20年を記念して記念講演会を実施します！

市政研究センターでは、行政課題の調査研究のほか、政策形成の支援、データ利活用の促進、大学連携の促進などの取り組みを通して、「明日の宇都宮（アスノミヤ）」をよりよくすることを目指しています。

設立20年目を記念して、大学生や学識経験者とともに、2050年に向けてこれからの宇都宮のまちづくりを考える機会として、大学生によるまちづくり提案2023+の提案発表会および記念講演会を開催いたします。



宇 都 宮 市
市 政 研 究 セ ン タ ー
設 立 20 年 記 念
ま ち づ くり 提 案
記 念 講 演 会

日時：令和5年12月1日(金)9:30～17:00
場所：ライトキューブ宇都宮 3F中ホール(栃木県宇都宮市宮みらい1-20)
参加無料、事前申し込み不要 対面開催

第1部 大学生によるまちづくり提案2023+
私たちでつくる「アスノミヤ」
口頭発表およびポスターセッションによる審査
・審査研究部門 -スマートシティの実現に向けて-
・スーパースマートシティ創発推進部門 -私が実現するスーパースマートシティ-
・ロゴデザイン部門 -アスノミヤ研究所の発展に向けて-

第2部 市政研究センター設立20年記念講演会
基調講演「2050年の経済社会と宇都宮」
特別講演 特別日本経済研究所 主席研究員
パネリスト
・パネリスト 1 齋藤 浩之 氏 特別講演者(基調)「宇都宮の未来」
・パネリスト 2 中野 浩之 氏 宇都宮大学学長 特別講演者
・パネリスト 3 中野 浩之 氏 宇都宮大学学長 特別講演者
・パネリスト 4 中野 浩之 氏 宇都宮大学学長 特別講演者
・パネリスト 5 中野 浩之 氏 宇都宮大学学長 特別講演者
コーディネーター 齋藤 浩之 氏 宇都宮大学学長 特別講演者



ポスターセッション

提案発表



市政研究センターは、愛称が「アスノミヤ研究所」となりました

- 1 **日時** 令和5年12月1日（金） 9時30分～17時
- 2 **会場** ライトキューブ宇都宮 中ホール
- 3 **内容** <第1部>「大学生によるまちづくり提案2023+（プラス）」提案発表会
共通テーマ：私たちでつくる「アスノミヤ」

部門	調査研究部門	スーパースマートシティ 創作表現部門	ロゴデザイン部門
課題	～スーパースマートシティ の実現に向けて～ 学生が自ら市内の状況等を調査し、行政等と共に取り組もうとする提案を求めるもの	～私が表現する スーパースマートシティ～ 学生が考えるスーパースマートシティを表現する創作物を募集するもの	～アスノミヤ研究所 の発展に向けて～ 市政研究センターの愛称「アスノミヤ研究所」のロゴマークを募集するもの
応募状況	市内3大学（宇都宮大学、宇都宮共和大学、帝京大学） 12グループ	宇都宮共和大学 1作品	宇都宮アート＆スポーツ専門学校 19作品 宇都宮大学 2作品

＜第2部＞市政研究センター設立20年記念講演会

- ・基調講演 「2050年の経済社会と宇都宮」

講師：藻谷 浩介 氏 株式会社日本総合研究所 主席研究員

- ・パネルディスカッション 「『宇都宮の未来』について」

パネリスト	所属
藻谷 浩介 氏	株式会社日本総合研究所 主席研究員
西山 未真 氏	宇都宮大学農学部 教授
小松 初音 氏	宇都宮青年会議所とちぎフォーラム特別委員会 委員長
井出 昌浩 氏	宇都宮市 CDXO補佐官
コーディネーター	所属
長田 哲平 氏	宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授 (市政研究センター初代研究員)

4 その他 会場に市内高等教育機関のPRブースを設置

【参考】 市政研究センター設立経緯について

- ・ **設置経緯** 中核市移行や地方分権の進展などを背景に、地域の自主性、自立性を高め、政策形成機能の強化を図ることを目指し設置した。
- ・ **経過**
 - 平成16年 4月 自治体シンクタンクとして「うつのみや市政研究センター」を設置
 - 平成30年11月 設立15周年として自治体シンクタンク交流会議を本市で開催
 - 令和 5年 4月 政策審議室情勢分析グループと統合し、機能を強化
- ・ **目的** 自治体シンクタンクとして、調査研究の実施・政策形成の支援・大学連携の促進・データ利活用の促進による市内の政策形成能力の向上を図る。
- ・ **研究成果**

①施策等に反映された提案の事例 25件／（論文総数93本）

- ・ 近隣環境の評価と健康指標の活用に関する調査研究～スマートウェルネスシティの視点から～（平成29年度）
⇒平成30年度からアプリによる健康ポイント事業開始
- ・ 宇都宮市におけるクリエイティブ産業と創造都市の可能性（平成28年度）
⇒平成29年に産学官が連携し、創造都市実現に向けた研究センターを設立

②都市調査研究グランプリ（CR-1グランプリ）（財）日本都市センター主催 最優秀賞 「学校施設の活用用途に影響を与える要因に関する調査研究」（令和3年度）

宇都宮駅東口地区における 賑わい空間創出事業 「HIGHLIGHT UTSUNOMIYA」の実施について

経済部 都市魅力創造課

「宮みらいライトヒル」にデジタルアートの「動くギャラリー」が出現！！

まちびらきから1年を迎えた宮みらいライトヒル（宇都宮駅東口交流広場）に大型LEDビジョンを設置し、本市にゆかりのあるアーティストが制作した「デジタルアート」を用いて、光と音を活用した非日常空間をお届けする「動くギャラリー」を実施します。12月15日には、オープニングイベントとして、音楽ライブやライブペイントなどを実施します。



「highlight（ハイライト）」には、名詞として「見どころ、代表する部分」という意味があるとともに、動詞として「目立たせる、光を当てる」という意味があることから、本事業が「宇都宮を代表する」宇都宮駅東口地区の新たな「見どころ」となること、そして、本事業を通して宇都宮や栃木にゆかりのあるアーティストに「光を当てる」という意図が込められています。

HIGHLIGHT
UTSUNOMIYA

イベント
WEBサイト



HIGHLIGHT
UTSUNOMIYA

Instagram



HIGHLIGHT_UTSUNOMIYA

上記WEBサイト・SNSでイベント情報を随時更新！

宇都宮駅東口地区における賑わい空間創出事業 「HIGHLIGHT UTSUNOMIYA」の実施について

○ 事業全体について（画像はイメージ）

- ・ 宮みらいライトヒル1階交流広場の水盤において、LEDパネル（縦0.5m、横0.5m）48枚を組み合わせ、大型LEDビジョン（縦1.5m、横8.0m）を設置し、デジタルアートを投影。光と音の空間を演出
- ・ オープニングイベントを開催するほか、宮みらいライトヒルの2階にも光のスポットを設置

オープニングイベント（12/15）

- ・ 音楽ライブやライブペイント、プロジェクトンマッピングの実施
- ・ 温かい飲み物や食べ物を提供するイベントを同時開催

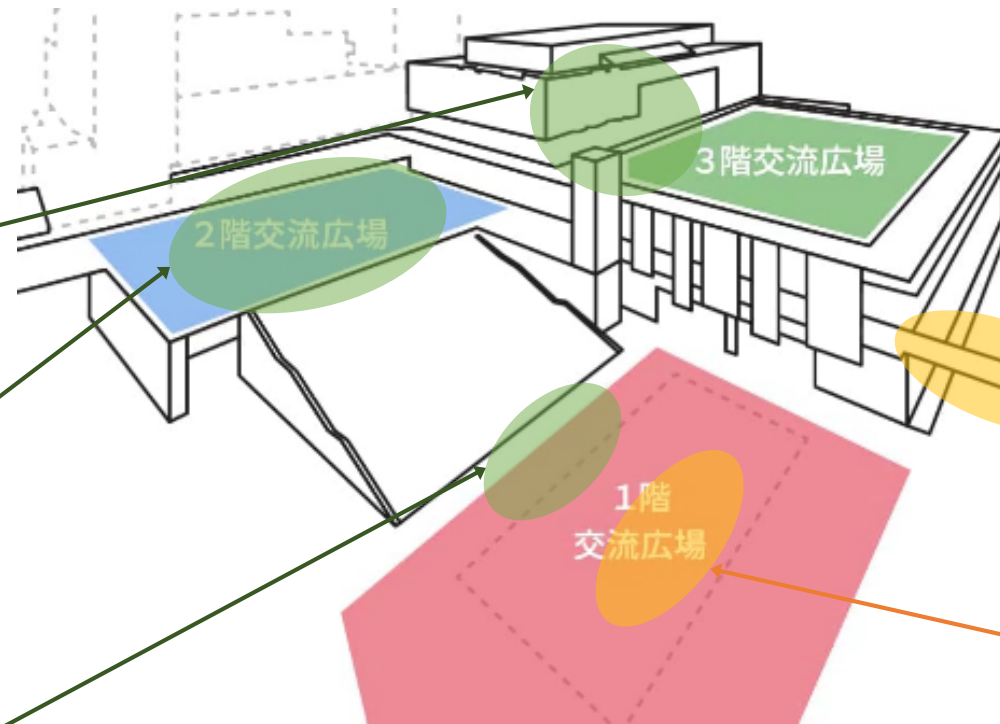
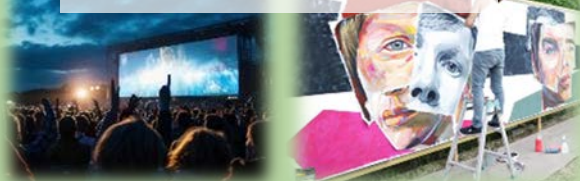
プロジェクトンマッピング（予定）



【同時開催】飲食提供イベント



音楽ライブ、ライブペイント



※その他、中間イベントの実施を検討中

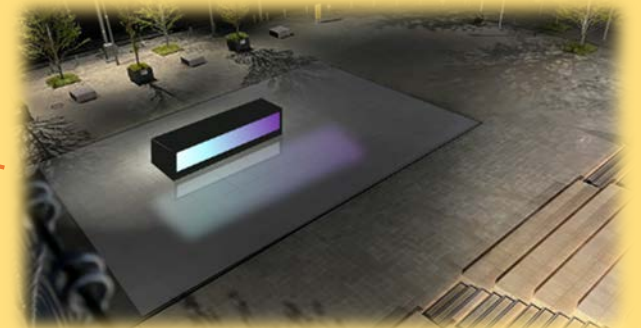
常設スポット（12/15～2/14）

- ・ 電飾を用いたフォトスポットの設置
- ・ 大型LED及び音響施設の設置

電飾による「白の洞窟」



大型LED「HIGHLIGHT UTSUNOMIYA」



○ LEDビジョン デジタルアート参加アーティスト

- 宇都宮や栃木にゆかりのある、多様なアーティストによる作品をデジタルアート化して使用



- 「ebi」氏
 - 栃木市在住。「闇の先に見える光」をテーマにアート活動
 - フランスのルーヴル美術館地下や横浜赤レンガ倉庫で展示会を開催



- 「ポッピングキミー」氏
 - 宇都宮を中心にロゴデザイン等の活動を実施
 - 個性的でアメリカンポップなテイストが人気を集め、都内でも多数イベントに参加



- 「荻原 貴則」氏
 - 2015年に宇都宮市で「きものHAUS」をオープン
 - きものイベント「宮魁道中」などを主催
 - 「栃木から世界へ」を合言葉に世界三大ミスコンテストの栃木大会着物部門を初めて導入



- 「yas|青牛 鱗 (yas|Aoi uroko)」氏
 - 宇都宮でイラストレーターとして活動
 - 栃木をはじめ、都内でも個展を開催し、作品集やリアルな絵の描き方に関する書籍を出版



- 「Sean Oshima (シヨン・オオシマ)」氏
 - 栃木県那須塩原市出身のミュージシャン。宇都宮市内でバンド活動を実施
 - 大胆で緻密なサウンドはグローバルチャートでも注目されており、舞台作品への楽曲提供やテレビドラマの主題歌を担当

○ イベントスケジュール (予定)

実施内容	実施期間
LEDビジョンの設置	R5.12.15(金)～R6.2.14(水)
オープニングイベント	R5.12.15(金) 17:00～
とちぎeスポーツフェスタ連携企画	R5.12.17(日)